NPO 法人　大阪府北部コミュニティカレッジ

ONCC NEWS

第 8 号
2016 年 10 月 31 日
発行：ＯＮＣＣ広報部
編集委員会

茨木市駅前 2-5-24
℡：072-646-9422

５期生（29 年度）　受講生募集中！

シニアのための地域密着型 大学校

◎新規4学科と改定5学科含めて「9学科11教室」で開催します。

学　　科	期間	教　　室	曜日	定員
大阪府シルバーアドバイザー養成講座 1. 地域福祉を学ぶ科　［改定］	1 年	豊中市「福祉会館」他 、 吹田市「総合福祉会館」、 高槻市「地域福祉会館」他	木	各教室 15 名
2. 歴史と文学の人と心を学ぶ科［改定］	1 年	摂津市 コミュニティプラザ	月	50 名
3. 歴史のロマンと謎に迫る科（古代） ［改定］	2 年	高槻市 高槻南スクエア	火	50 名
4. 歴史のロマンと謎に迫る科（中世） ［新規］	1 年	豊中市 関西アーバン銀行	火	50 名
5. わくわくアウトドア科　［改定］	1 年	吹田市 くるくるプラザ 他	木	45 名
6. カメラをもって遊ぶ科　［新規］	1 年	茨木市 ローズ WAM 他	木	45 名
7. 水彩とパステルのアート科　［新規］	2 年	吹田市 北千里ディオス１番館	金	45 名
8. 音楽を楽しく学ぶ科　［改定］	1 年	池田市 ナムのひろば文化会館	金	45 名
9. 街道と水運の史跡を探る科　［新規］	1 年	豊中市 刀根山蛍池会館	金	50 名

◎学科説明会を開催しますので、ご都合のよい会場にお越しください。

期　日	開催地	会　場（各午後２時～4 時）	最寄駅
12 月３日(土)	豊中市	とよなか男女共同参画推進Ｃ「すてっぷ」	阪急宝塚線「豊中」西駅前ビル
12 月４日(日)	茨木市	福祉文化会館	JR 茨木駅・阪急茨木市駅５分
12 月５日(月)	豊中市	千里文化センター・コラボ	北大阪急行・モノレール 千里中央駅 3~5 分
12 月６日(火)	高槻市	高槻南スクエア	阪急高槻市駅 南前
※上記の他に、11/18(金)島本町・11/21(月)池田市・11/24(木)吹田市・11/25(金)摂津市で「ミニ説明会」を開催予定です。　詳しくは「募集要項」をごらんください。			

「募集要項」は、各市町の公共施設等に備付けを入手いただくか、下記宛ご連絡ください。

お問合せ先　　NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ　連絡事務所
〒567-0888　大阪府茨木市駅前二丁目５－２４
電話　０７２－６４６－９４２２・Fax　０７２－６４６－９４２３
Email　info@oncc.jp　　URL　http://oncc.jp/

平成２８年度　第１回大学提携授業（追手門学院大学）実施する

9月7日(水)、「団塊の世代～これまでとこれから～」のテーマで、追手門学院大学経済学部　李義昭教授からの大学提携授業を受けました。

前日の気象予報では低気圧、前線の影響で実施が危ぶまれましたが、当日は好天に恵まれ、受講生とスタッフ約320名が熱心に受講しました。

講義は、団塊世代が昭和40年頃から社会全体の構造や考え方に大きく影響を与え、変化させてきた。そして現在も変えつつあるということを先生の研究結果のデータも交えながら詳しく説明されました。受講生も懐かしみながら、そして自分がどうであったのか思いを巡らせました。

そして、いよいよこれらの世代も終活を迎えようとしています。そこで先生は、ユーモアを交え、どのように考え、どう向き合っていけば良いか受講生一人ひとりに問いかけられた講義でした。

受講生もこれまでに色々考えてきている人が多いが、この講義を聴き更に一歩踏み込んで考え、話合い、向き合ってもらえればと考えています。

このたび、関西大学（吹田市）からＯＮＣＣの後援を頂きました！

創立 130 周年の歴史と伝統ある関西大学で、5 期生（29 年度）学科から、同大学の提携授業も追加して全学科合同の「共通授業」を一層充実します。

「第３回ＯＮＣＣふれあい交流祭」を楽しもう！！

11月16日(水)、昨年と同じ吹田市文化会館（メイシアター）で開催予定の「第3回ONCCふれあい交流祭」は、①各クラスでの学習内容の**発表・報告**、②受講生同士やOB等の先輩との**交流**、③広く地域のみなさんに知っていただく**PRの場**という3つのテーマで開催します。

去る5月30日の「クラス代表会議」での概要説明に始まり、第1回実行委員会を6月25日、第2回実行委員会を　7月23日に行い、3期生・4期生とONCC役員一体の実行委員会の体制を確立、以降月1回の実行委員会とそして部会毎による実施内容の検討から詳細の検討と部会間の調整等を綿密に行い、順調に進めてきました。

各クラスでは、ホームルーム等においてクラス・班毎の発表・報告について話合い、活動してまとめて来ました。更には、日頃からの取組み等のその成果を種々の表現方法で発表するパフォーマンスも準備しています。

当日は、会場の設営から各発表・交流そして後始末と全受講生、ONCC役員一丸となって盛り上げていきます。この交流祭がきっと素晴らしい、新しい発見、出会いそして交流が生まれ、楽しい一日になるものと期待しています。

昨年の交流祭の様子

1 学期から夏休みの終わりまでの活動（取組み）

キャンバスライフ(美術)科　3 期生　吹田教室

「基本形から応用編」

私たちの教室は女性が20名、男性が15名　計35名で4班に分かれて授業を進めていくのですが、2学年に入って皆さんは硬さが取れて和気あいあいと、やっています。一学期始めは基本形の遠近法の復習で北千里駅前のディオスのビルの風景。

一学年より上手く描けたと自画自賛してキャンバスから離れて見ていると、三木先生が来られて、「ここの所が少しおかしい」と、指摘されたところを目を細めて見てみると柱が少し傾いている、基礎の所をしっかりと勉強しなくてはと反省。

平面のキャンバスに立体的に表現をすることは難しい所でもあり、楽しいところでもあります。応用編の静物画は皆さんが持ち寄った画材、花あり、果物・置物有り、その中からチョイスして限られた画面の中にどう構成するか腕の見せ所。皆さんわいわいガヤガヤと楽しい風景です。共通の趣味を持っている仲間が出来るのは楽しいものです。【文:　松下　繁男】

歴史のロマンと謎に迫る科　3期生　豊中教室

「ふれあい交流祭テーマ探しの旅」

1学期は奈良時代や平安時代初期の出来事について5人の先生方に教えて頂きました。そして現地探訪ツアーでは真言密教の高野山、校外学習では神戸市立博物館でボストン美術館所蔵の江戸浮世絵の鑑賞と楽しい授業を体験しました。一方、クラス仲間はふれあい交流祭のテーマを何にするか、その内容をどうするかと仲間同士でワイワイガヤガヤと盛り上がっています。

私達1班はテーマ探しの旅を7月19日に実行する計画を立てました。当日は先ず中之島のクルージング（アクアライナー）に乗り水上から眺める風景の美しさを体感しました。次に府立中之島図書館に移り、ここで美味しいコーヒー等を頂きながら今までの学習を思い起こしつつテーマを話し合いました。この結果、中国（唐）から全盲になっても、日本の仏教戒律のために来日した「鑑真和尚」に決め、1班全員で井上靖著「天平の甍」を読み、感想を寄せ合うという事も決めました。古びた頭の中から知恵を絞り出すという少し辛さも伴った旅でもありましたが、天気も良く楽しい一日でした。

2学期が始まった今では「ふれあい交流祭」に向けてエンジン全開というところです。【文:　髙原　壽和】

歴史・文学の人と心を学ぶ科　3期生　高槻教室

「青春18キップで城郭探訪の旅」

歴史・文学のクラスで「城郭探訪同好会」を会員35名で7月中旬に発足しました。

最初の活動は8月31日JR青春18キップ利用で福井県の城郭を探訪する計画です、台風10号の動きが心配でしたが幸いに前日早々に日本海側へ通過で晴れの良い日に恵まれました。

参加者22名で約半数が青春18キップを初めて利用するとのことで5名１組で、高槻駅8:04出発、敦賀で乗換え福井駅11:47着、乗車車両の乗り間違いやバス停探しのハプニングがありましたが、1番目の「丸岡城」に無事到着、この城は柴田勝家の甥「柴田勝豊」が1576年に築いた城郭で、江戸期からの現存天守12城の1つであり、瓦は石で葺いた珍しい城であります。建物内の階段は急勾配でロープを掴んでの登り、最上階からの眺めは良い景色でした。「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥やせ」の手紙の「お仙」こと本多成重が6代目城主でありました。次いで福井藩主の別邸、養浩館で数寄屋造りの屋敷と回遊式林泉庭園を楽しみ、隣接の福井市立郷土歴史博物館を見学後、福井城石垣を巡り、柴田勝家とお市の「北ノ庄城址」を回り福井駅から高槻駅帰着まで約12時間の見ごたえのある旅でした。【文:　田之口　勇】

カメラ・フォトグラフ科　3期生　茨木教室

「写真を撮るということ」

フォトグラフ科入学当初は45名のクラスでしたが、2年目に入り受講生数も24名に減り、班の構成も一班6名と2年目に入ったカメラ・フォトグラフ科です。先生からは「写真で大事なのは感性であり、何を感じるか、それをどう表現するかを考える事。技術は、それを的確に表現する手段。常識にとらわれず、気になるものは、何でもシャッターを切るように。」と教えられています。

昨年は、基礎編で教室での授業が中心でしたが、今年は、実践編で屋外の撮影ロケが多くなっています。ロケで撮った写真を、後日、スクリーンに映し、皆で見ながら先生に詳しい講評をいただくというのが、とても勉強になっています。皆の写真を見て、先生の講評を聞く事が、新しい知識となって、次の撮影にとても役立っています。目には見えないけれど、我々のカメラの腕も、昨年よりは確実に上がっていると思われます。

9/29　大阪駅ロケ・先生の講義

今年は雨が多く、校外学習も雨で延期になったり、注意報でロケが中止になったり、他のロケも雨模様という日も多く、快晴の撮影日が少なかったのが残念でしたが、夏休みの課題作品撮影を宿題として１学期を終了しました。

2学期は、引き続き校外ロケもありますが、ふれあい交流祭の作品を仕上げるというのが、一大イベントになります。昨年よりは、額のサイズも大きくして、一段上の作品作りを目指しています。　【文:　江島　一辰】

地域福祉を学ぶ科　4期生　豊中教室

「テレビクルーがやって来た！」

クラスの活動ではありませんが新学期の一番大きな出来事をご紹介します。

１学期も二カ月を経過した6月のある日、クラスにNHKのテレビクルーがやって来ました。

カメラにマイク、照明･･･

この日の主役は「千福幸子」さん、81歳の今も授業のある木曜以外は現役ヘルパーとして活躍されています。その数日を追いかけたドキュメンタリー番組とか･･

千福さんは70歳を超えてヘルパー資格を取られ、耳が不自由な方を介護するために手話もこなされる文字通りのアクティブ・シニア。

授業日には班で一番早く登校？いつも前向きで明るく「今が一番、幸せ」と我々にもプラスのオーラをいっぱい降り注いでくれます。

「アクティブ・シニア」のあるべき姿に身近に接することの出来る我々は素晴らしい講師陣と相まって来春にはそれぞれが「アクティブ・シニア」として巣立っていくことでしょう。【文:　手塚　之博】

音楽を楽しく学ぶ科　4期生　摂津教室

「大阪音楽大学博物館に行ってきました」

1学期の学習も終わり、7月25日に私たち2班のメンバー8名で音大博物館の見学に行きました。森田さん以外は初めての人ばかり。音楽博物館は大阪音大K号館の4階にありました。

展示室に入るやビックリ！広い室内でそこは楽器の宝庫です。世界中から集められたありとあらゆる楽器約3,500点の内、1,000点程度が常時展示されているとか･･･管楽器、鍵盤楽器、弦楽器、打楽器、今まで見たことのない民族楽器等も広い展示室に整然と並べてありました。試奏のできる楽器もおいてあり、皆それぞれ弾いて楽しんでいましたが、何も弾けない私は珍しい楽器を見ては、ただただ感心するやらビックリするやらの連続でした。

同じ弦楽器、打楽器であってもお国柄や気候、風土、文化等の相違でさまざまな形になっていることも解りました。歴史ある楽器も展示されていて大変興味深かったです。

またいつか、機会があれば孫を連れていきたいと思います。今度行く時は『ガイドツアー』をしてくれる日に申し込んで出かけたいと思います。【文:　遠藤　定子】

キャンパスライフ[水彩]科　4期生　高槻教室

「1学期が終わって」

わくわく、ドキドキの受講生42名が一人、一人これから学んでいく水彩画にたいし期待をもって学んだ1学期も終わりました。

いまでは先生のご指導により、画用紙の上に何をどの様に 描けばよいのかそれなりにわかったような気がします。

デモストレーションでは様々な技法を教えていただきました。

何を描くのも細かく観察すること、光、影、明暗等　どこを主体にして描くのか、いらないものはけずりとる勇気、失敗を恐れず新しいものに挑戦することを学びました。

絵の基本的な要素はおなじでも、絵を描く人によって、感じ方、表現方法が違い、形も色も違ってくることを学びました。

私も、早く、私の持つ感性に従い、表現していきたいものです。【文:　清水 広子】

先人の知恵から学ぶ考古学科　4期生　吹田教室

「継体天皇の宮跡(弟国宮・樟葉宮)を訪ねる」

私たち考古学科3班は、「ふれあい交流祭」のテーマを「継体天皇の4つの宮」に決め、4か所全ての現地調査を行うことにしました。そして、まず、7月19日、午前に「弟国宮」、午後に「樟葉宮」を訪ねました。

午前10時に阪急長岡天神駅に集合し、長岡京ボランティアガイドさんの案内で、乙訓寺へ向かいました。この周辺が「弟国宮」の伝承地で、ガイドさんから、「昭和41年、長岡京発掘調査時、寺に隣接する長岡第3小学校のグラウンド地下で、長岡京以前の宮殿跡と思われる柱穴が発見されたが、工事の都合で埋められてしまった」との秘話？を伺いました。「いつか、再調査出来るのを楽しみにしている」とのことでした。

昼食後、京阪樟葉駅へ移動、枚方市ガイドさんと合流し、「樟葉宮」伝承地である「交野神社」にて詳しい説明を受けました。好天で暑い中、トータル歩数約2万歩の行程で、一同疲労困憊でしたが、貴重な情報が得られ、有意義な1日となりました。【文:　中島　博行】

健康とアウトドア科　4期生　吹田教室

「六甲山での”デイキャンプ”に参加して」

小鳥さえずる爽やかな5月、六甲山キャンプ場で初めてのデイキャンプにビギナーの私はワクワクしながら参加しました。テーマは安全な道具の取り扱いの習得と環境への配慮でした。更に2個のビールの空き缶と新聞紙1日分で1合のご飯が炊けるという事も学習しました。

「燻製作り」に挑戦

地面でアルミ缶を重ねて炊いているうちに缶のバランスが崩れ、倒壊と建直しを繰り返すも炊きあがった白米の美味しさは格別でした。

チップを燻して作るダッチオーブンでの燻製作りに、皆は色んな食材を放り込みワイワイガヤガヤ。

班別にテーブルを囲み、炊き立てご飯と燻した竹輪やベーコンで舌鼓を打ち、狙い通り親睦を深め協調性を育むことはできたはず。元気なアクティブボーイ、ガール達の手際の良い後片付けが終わり、私は9月の阿南市のマリンスポーツ体験に思いを馳せながら足取り軽く下山しました。

元気なシニアが揃う我がアウトドアクラスも仲原先生の温かいお人柄や決して受講生を飽きさせないトーク、優しく丁寧なご指導のお陰で無事1学期を修了しました。このテンションのまま3学期まで全員で楽しみたいと思います。【文:　下向　つや子】

西国街道の史跡を訪ねる科　4期生　豊中教室

「班メンバーの親睦を深める」

4月スタート時に考えたのは、お互いを知らなければ始まらないという事でした。

それで、夏休みまでを①「班メンバー間の親睦を深める」、②「校外学習の充実」の2つをテーマにし、活動する事としました。

①については、豊中教室での講義、現地探訪に関わらず、終了後がメンバー間の親睦の時間となりました。メンバー同士が打ち解けるのに、そう時間は要りませんでした。このテーマについては早々にクリアされ、当たり前の様に継続しています。

②は7月までの3回あるクラスミーティングの時間を校外学習に充て、担当メンバーがそれぞれ自身の地元探訪を企画する事としました。結果、台風の影響で1回中止になりましたが、豊中岡町散策と満願寺・最明寺滝巡りの2回は実施でき、メンバー間の距離が一層近づけました。【文:　東　敬司】

歴史と古典文学を学ぶ科　4期生　豊中教室

「1学期の活動報告（学科全体での活動及び各班の活動）」

1. 学科全体での活動

授業以外での学科全体での活動として、2回の校外学習（桜塚古墳群の見学及び阪大・学術博物館と逸翁美術館の見学）が行われ、北摂地域における史跡、文化施設をボランティアガイドさんの案内で見学しました。

2. 各班の課外活動

クラスの43名が4班に分かれて、それぞれ班のテーマを設定して活動しています。

・第1班は、「山の辺の道／万葉歌碑」をテーマに、「大阪歴史博物館」、「池田呉服座」などを訪ね、見聞を広めました。

・第2班は、たつみ先生の講義で紹介された小説「皓月」をベースに、大和朝廷の国家体制確立に挑む斉明女帝について議論しました。

・第3班は、「古民家研究」をテーマに吹田市の旧西尾家住宅、浜屋敷、猪名川町の静思館、神戸市北区の箱木千年家（日本最古の民家建造物）の見学を行いました。

・第4班は、「歴史の中の怨霊信仰」をテーマに調査を行い、京都、大阪、奈良、淡路島の怨霊に関わる神社を訪ねました。

3. クラスの親睦会

1学期の終わりに、豊中教室の近くのレストランにて懇親会を行い、親睦を図りました。【文:　中川　慎一】

歴史のロマンと謎に迫る科　4期生　茨木教室

「始皇帝―歴史のロマンと謎を訪ねて」

校外学習で、国立国際美術館で開催中の特別展「始皇帝と大兵馬俑」の鑑賞に出かけました。

この「兵馬俑」は、1974年に地元の農夫が、井戸を掘っていたところ、偶然発見・発掘された。それは、今から約2000年前、中国史上初めての統一王朝「秦」の始皇帝の陵墓に副葬された約8000体の兵士や軍馬を始め、膨大な量の文物からなる「兵馬俑」でした。

今回は、その貴重な「兵馬俑」11体を含め、西周、春秋時代から戦国時代までの文物等合わせて124件が展示され、臨場感あふれる会場で、文物の魅力と迫力を体感でき、遠く秦の時代に思いを馳せる内容となっていました。

展示室は、第1章「秦王朝の軌跡」として、周辺の小国から天下を統一するまでの52件、第2章は、「始皇帝の実像」として33件、第3章は、「始皇帝が夢見た『永遠の世界』」として、「兵馬俑と銅車馬」などを含めて39件の文物が展示されていました。

初めて天下を統一し、自ら「始皇帝」と名乗った絶対的な権力者の威光を表す展示であり、秦王朝の政治・経済・文化・軍事などに文物を通して触れることができ、始皇帝の人物像を想像し、歴史のロマンと謎に迫ることができた一日でした。【文:　前田　金洋】

「ふれあい事業推進部」の活動

げんき塾

ふれあいサロン「げんき塾」は、話し相手がいない、近所づきあいが少ないといった孤立した高齢者が、サロンで近所の人と話をし、「いざという時は、お互いに助け合える関係」となることを願って、気軽に集える場所としてご利用いただくように立ち上げました。

サロンでは気軽に集っていただけるように、来場者にはコーヒーや紅茶の接待、豊能農園（「野菜づくりを楽しむ科」卒業生による農園）で作られた野菜の安価な販売、南京玉すだれ、歌体操などのイベントも行っています。

本年4月29日にオープンし、これまで7回の開催にすぎませんが、地元の自治会役員より、高齢者の親睦が深まったというお褒めの言葉をいただきました。今後とも高齢者の皆様に気軽に集っていただけるサロンとして運営したいと考えております。

なお、開催日時等は以下の通りです。

1. 日　時：毎月第１金曜日　１３:３０～１６：００
2. 場　所：豊中市立刀根山蛍池会館

ふれあい歩こう会

「ふれあい歩こう会」は、晴眼者と視覚障がい者の方が、障がいの有無に関係なく、助け合って街歩きや自然の里山を楽しみたい、という趣旨のもとに立ち上げられた会です。

当面のところ、隔月の第1日曜日に開催する予定にしており、9 月 4 日に第１回目の例会「阪急箕面駅から滝道往復」を開催しました。

お二人の視覚障がい者の方が参加してくださり、同行して来られたヘルパーさんたちも含め、総勢17名で歩きました。お二人のご厚意により、メンバーが交代でガイドさせてもらうことができ、とても貴重な経験になりました。逆に、お二人には最後までリズムが一定せず、大変な思いをさせてしまいました。

大きな岩を手で触れてもらったり、滝の水しぶきを感じてもらったり、河原で水の音や冷たさを感じてもらったり、終始楽しい雰囲気の中で無事終えることが出来ました。

ふれあい農園

ONCC実践研究豊能農園:　野菜科1、2期卒業生で運営しているこの農園も2年目に入っています。今夏のような高温多湿などの自然と向き合い、担当畝で色んな品種、作り方に挑戦しています。今は秋野菜が順調に成長し収穫が楽しみです。

近くの福祉施設入所の方の収穫体験、地元の清掃行事（草刈等）への参加にも取組んでいます。

花と野菜のガーデニング講座:　先生の指導で整備された畑に、先日、秋野菜最後のホウレンソウの播種も終わり、ハクサイ、ダイコン、カブなども見事な成長ぶりです。個人花壇は10月中旬にアリッサム、ビオラ・パンジー、ポピー、オルシアを播き、その奥に、畑で育てているハボタンを移植します。どんな綺麗な花壇になるか、夢が広がります。共同花壇の菊などは切り花として、近くの農家の方にも差上げ喜ばれています。

ＯＮＣＣ４周年記念「講演と音楽の集い」

お陰さまで、ＮＰＯ法人大阪府北部コミュニティカレッジは４周年を迎えました。

感謝をこめて「講演と音楽の集い」を開催いたしますので、お誘いあわせの上のご来場をお待ちしております。

チケット（協賛金）は、本誌表紙の連絡事務所又はONCC役員、学科CA、高大同窓会・SAにお申込みください。

講演「100歳人生を考える」

國松　善次

元 滋賀県知事
健康生きがいづくりアドバイザー
健康福祉総研理事長
滋賀県健康生きがいづくり協議会理事長

Jazz ライブ

足立 衛 カルテット
＆ ボーカル 西脇千花

2016年11月30日（水）

12：30　開 場
13：00　開 演

吹田 メイシアター・中ホール

協賛金：￥1,000

・A列車で行こう ・スマイル ・
この素晴らしき世界 他（予定）

ＯＮＣＣ会員の入会ご案内

平素は当法人へ格別のご支援・ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

つきましては、平成28年度「ONCC正会員」にご加入頂けますようお力添えをお願い申し上げます。
会員の皆様には、各学科・公開講座・イベント等に優先的にご参加いただけます。
茨木連絡事務所へお電話をください。申込書と年会費3,000円の郵便払込用紙を郵送します。

電話　072－646－9422　　FAX　072－646－9423

編集後記　各学科とも2学期に入り、学習とふれあい交流祭に向けての活発な活動をされています。
また、卒業生の有志で「げんき塾」「ふれあい歩こう会」などの地域活動も拡充しています。
この10月から、5期生（29年度）受講生募集活動を本格的にスタートしました。
既に「速報版」続いて、「募集要項」を受講生・ONCC会員の皆様、各市町公共施設をはじめ高大同窓会とシルバーアドバザーの関係団体などに配布を行っています。11月には4周年記念行事も開催します。　みなさまのお力添えをお願いいたします。　（佐保田）